

パブリック・コメント手続（意見募集）結果

横須賀港港湾計画改訂について

公表日

令和6年（2024年）5月17日（金）

お問い合わせ先：横須賀市 港湾部 港湾整備課

電話046-822-9464（直通）

横 須 賀 市

「横須賀港港湾計画改訂について」に対する
パブリック・コメント手続（意見募集）の結果について

1 意見募集期間

令和6年（2024年）1月11日（木）から1月31日（水）まで

2 意見の提出者数及び意見の件数

（1）意見の提出者数 7人

（2）意見の件数 35件

■意見の提出方法

提出方法	人 数
直接持参	0人
郵 送	2人
ファクス	4人
電子メール	1人
合 計	7人

■意見の内訳

項 目	件 数
新規埠頭に関する意見	6件
港湾施設整備に関する意見	7件
自然環境、公園、海浜に関する意見	3件
その他の意見	19件
合 計	35件

パブリック・コメント手続において提出された意見の概要及び市の考え方

(1) 新規埠頭に対する意見

番号	意見	意見募集時 港湾計画改訂 該当ページ	横須賀市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・新港地区を17.2ha埋め立て、岸壁を作る必要性はないので、見直すべきである。 ・約347億円という整備費用は、財政難の横須賀市にとって、金が掛かりすぎる。 <p>過去に大分フェリーが廃止となり、現在の北九州フェリーも、必ずしも利用状況が多くない現状で、その推移を見極めずに新たな港湾施設を整備するのは危険である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェリー、内貿ユニットロード拠点、災害時の幹線貨物輸送として、新岸壁を作る需要まであるとは思えない。仮にあるとしても、巨額の資金をかけて海を埋め立てるより米軍基地部分の岸壁の一部返還や共同使用を求めて、それにより対処すべきである。 ・また、長浦地区、久里浜地区の岸壁整備で対処可能である。 ・平成のバブル時代に潰れた第2突堤計画の焼き直しではないか。 	23	<p>・北九州港と結ぶフェリー航路が順調に利用を増やしてきている中、横須賀港のポテンシャルを最大限に活かすために当該埠頭整備は必要であり、市の発展に繋がると考えています。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・埋め立て地の広大な17.2haの利用計画も全く示されていないが示すべきである。 	23	<p>・港湾計画で示すべき土地利用計画につきましては、図示しているとおりです。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・家族連れ、若者の利用者の多いうみかぜ公園の面積の半分以上が廃止して、港湾関連用地にすると、新埋め立て地に公園を移すとしても、アクセスも悪くなり、工事中の長期間使用ができなくなるので、うみかぜ公園は現状のまま残すべきである。 	23	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のうみかぜ公園部分も含めて、より魅力的な緑地を整備し、引き続き多くの市民の皆様が親しんでいただけるようにしていきます。 ・港湾緑地の具体的な機能や工事の進め方については、事業の実施に際して、市民の皆様のご意見を伺いながら検討してまいります。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・猿島付近の防波堤削除について21頁には記載されていないのはなぜか。 	21	<ul style="list-style-type: none"> ・21頁には長浦地区の港湾計画変更内容を記載しているため、猿島付近の防波堤削除は記載されません。 ・なお、もともと猿島付近の防波堤は港湾計画には記載されていませんので、今回の港湾計画改訂の中では、防波堤削除を記載する必要はありません。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・航路・泊地浚渫の土砂の埋め立て地転用なども明記して環境配慮型であることをPRした方がいいのではないのでしょうか。 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・全国物流の効率化、CO2対策・モーダルシフトへの貢献、世界との貿易増大への貢献、横須賀における歴史・文化を活かしたまちづくり・みなとまちづくりに対応した港湾計画改訂案であり、ぜひとも早急に改訂して下さい。特に新港地区の手狭な利用状況を考えると、P.23新港・平成地区の12m、9m岸壁を早急に位置づけ整備して下さい。また、長浦港の施設陳腐化が激しいので耐震岸壁も含め港湾整備をお願いします。 	21、23	<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市、横須賀港の発展に寄与できるような港湾整備等の取組みを進めてまいります。

(2) 港湾施設整備に対する意見

番号	意見	意見募集時 港湾計画改訂 該当ページ	横須賀市の考え方
1	・埠頭間連絡道路はいつまでも構想段階ではなく、具体的なルートを調査検討した方がいいのではないか。	20、23	・本構想につきましては、国道357号の夏島以南の延伸を想定したものです。引き続き、社会情勢を見極めながらルート選定を含め、国と協議してまいります。
2	・埠頭間連絡道路の新港地区の接続部だが、交通の流れを考慮して新港ふ頭ではなく新たなふ頭用地への接続が妥当ではないか。国道16号や横須賀横浜道路馬堀ICへの誘導を図る事でよすか海岸通りの渋滞緩和につながり周辺住民の負担が軽減されるのではないか。	23	・本構想につきましては、国道357号の夏島以南の延伸を想定したものです。引き続き、社会情勢を見極めながらルート選定を含め、国と協議してまいります。
3	・浦賀地区ではみなとの活性化のために東京湾フェリーを久里浜港から移設する案も検討した方がいいのではないか。	27	・頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
4	・臨港道路で追浜地区から平成地区までの具体的整備計画の記載がありませんでしたが、これでは計画している貨物取扱量をさばききれず、市内道路の渋滞を招き、市の経済に混乱を来します。物流面の問題をクリアしない限り、または問題解決のための臨港道路計画をセットにしない限り新たなふ頭建設は難しいのではないのでしょうか。	-	・本構想につきましては、国道357号の夏島以南の延伸を想定したものです。引き続き、社会情勢を見極めながらルート選定を含め、国と協議してまいります。
5	・浦賀地区の工業用地（住重跡地）の利用形態の見直しは先延ばしのみですが、見直し目標年度を想定しないと港湾計画にも大きな影響が出るのではないのでしょうか。	27	・浦賀地区の工業用地の利用形態の見直しにつきましては、本年3月に住友重機械工業との間で協定を締結し、今後、利活用事業者の公募に向け、調整を進めていくこととしており、港湾計画につきましても適切に対応してまいります。
6	・埠頭間連絡道路（将来構想）については、今回の計画においても残して下さい。 （理由） →新港埠頭の利用、さらには、平成町での新たな埠頭計画が進み、さらにR357が追浜まで伸びると、この埠頭間道路は必ず必要となります。本来なら今回の計画でも位置づけてほしいくらいです。計画位置づけには時間もかかるでしょうから、次回の改定時には位置づけて下さい。	20、23	・本構想につきましては、国道357号の夏島以南の延伸を想定したものです。引き続き、社会情勢を見極めながらルート選定を含め、国と協議してまいります。
7	・住友重機械工業跡地の工業用地については、計画見直しということですが、ぜひとも今回の改訂では無理ですが、早急に計画を策定して下さい。 個人的には、旧軍4港の中で、海自資料館がなく、週末、艦船公開を実施していない唯一の横須賀港です。ぜひとも、海自資料館、週末艦船公開の場所にするるとともに、石積み艦装岸壁の改修、水際線の緑地整備を行い、浦賀ドックや千代ヶ崎砲台跡地とともにセットで賑わい施設にしてほしいものです。	27	・頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

(3) 自然環境、公園、海浜に関する意見

番号	意見	意見募集時 港湾計画改訂 該当ページ	横須賀市の考え方
1	<p>・新たなふ頭用地の形状変更により現在公園の遊具改良は無駄だったのではないか。新たな緑地では釣り施設や人工海浜などは盛り込まれていないのではないか。</p>	23	<p>・老朽化が激しかった遊具につきましては、市民の皆様の安全を守るため、整備を行いました。移設可能な遊具を設置しています。</p> <p>・港湾緑地の具体的な機能については、事業の実施に際して、市民の皆様のご意見を伺いながら検討してまいります。</p>
2	<p>・東芝ライテック前に護岸についても、緑地として計画に含めてください。構造としては、以下のポンチ絵（栈橋構造の緑地・歩道）を提案します。</p> <p>（理由）</p> <p>→パプコメ資料P3でも述べられているように、長浦地区については市民の水辺・憩いの場とするためには、長浦湾沿い公共道路沿いには緑地整備をすべきです。現状では、歩道もなく、道路護岸上で釣りをしている人が多数います。非常に危険です。</p> <p>・鋼管杭を打ちその上にコンクリート梁とコンクリート板の栈橋構造で緑地・歩道を整備するはどうか。</p>	21	<p>・ご意見の護岸の背後は道路幅員が狭いため、緑地を整備するには埋め立て等により用地を造成する必要があると考えています。</p> <p>・護岸前面の水域は船舶の利用があるため、現状では護岸の前出し等を含む緑地整備は困難と考えていますが、頂いたご意見は今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>・②の既存緑地の廃止の代替として、新たな緑地を計画しています。賛成です。</p> <p>（理由）</p> <p>→現在の緑地は、公園内のスケボー練習サイトとして、全国でも初めて設置された歴史あるところです。また、BMXの練習サイトとしても親しまれています。土地造成地の水際線沿いに同等の緑地が位置づけられとおり、いい案だと思います。</p>	23、24	<p>・横須賀市、横須賀港の発展に寄与できるような港湾整備等の取組みを進めてまいります。</p>

(4) その他の意見

番号	意見	意見募集時 港湾計画改訂 該当ページ	横須賀市の考え方
1	・今回の計画事項については、横須賀港の将来の発展、横須賀市の発展のためには必要不可欠と思います。	全般	・横須賀市、横須賀港の発展に寄与できるような港湾整備等の取組みを進めてまいります。
2	・本港地区の岸壁の活用としてスターボックス前の階段護岸を改良して遊覧船乗り場へのアクセスを容易にする埋め立て、デッキ、其他方式で整備した方がいいのではないか。	22	・頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
3	・新港・平成地区でも高潮対策護岸の整備を盛り込んだ方がいいのではないのでしょうか。三笠公園近くのマンション護岸周辺は過去に被害を受けているので整備が必要です。	23	・高潮対策護岸については「海岸保全施設」となりますので、別途、神奈川県が作成する「東京湾沿岸海岸保全基本計画」に基づき、必要性の高いものから順次整備を進めてまいります。
4	・東北防波堤の維持管理を積極的にお願いします。 (理由) →東北防波堤は戦前に作られてものと聞いています。追浜地区、深浦地区、長浦地区の波浪防止の役割があるかと思えます。一方で、防波堤の水面上の高さも低く、釣り人も交通船で侵入しているとテレビで見ました。早急に東北防波堤の維持管理について検討し、所定の効果を発揮できるよう改良してほしいと思います。今回の港湾計画とは関係ありませんが、次回の改定までには検討をお願いします。	20	・東北防波堤の適切な維持管理につきましては、同施設を所有する国と調整してまいります。
5	ウ 長浦地区 ・・・・低下している地域では、近代化遺産等を踏まえ、港湾緑地を・・・ (理由) →長浦地区は、戦前の近代化遺産が多数存在することが、緑地整備の大きな理由なため。	3	・該当ページは、今回のパブリック・コメント手続の対象外ですが、頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
6	・特にどことは言いませんが、「他地域・海外との人の交流の窓口としての役割」を入れて下さい。 (理由) →物流ばかりで、横須賀の湾口部、半島性の特徴を人流にも生かすのが重要と考えます。	7、8	・p 8に記載の「・・・我が国を代表する交流拠点となるようなポテンシャル・・・」の交流拠点に「他地域・海外との人の交流の窓口としての役割」を含んでいると考えています。
7	・概算事業費（P29）の財源内訳を教えてくださいませんか。市税の割合は、どの程度でしょうか。港湾施設利用者（企業、漁業組合等）の負担は、どの程度、なのか、合わせてご教示いただけますでしょうか。	29	・財源の内訳につきましては、国の支援をいただきながら事業を進めることを考えていますが、現時点では具体的な事業スキームが定まっていないことから、確たる数値をお示しすることはできません。
8	・概算事業費（P29）のうち、市民に直接関わる内容を教えてくださいませんか。	29	・財源の内訳につきましては、国の支援をいただきながら事業を進めることを考えていますが、現時点では具体的な事業スキームが定まっていないことから、確たる数値をお示しすることはできません。
9	・維持管理費用、更新費用については、試算されていますでしょうか。試算されていたら、その財源内訳、負担内訳を教えてくださいませんか。	-	・今後、事業化に向けて検討を進めて参ります。
10	・新旧計画比較表（P30）において、取扱貨物量が減少しているのに、面積が増え、事業費が増加しているのは、なぜでしょうか。	30	・将来のニーズに対応するためには、既存の用地だけでは足りないため、用地造成が必要となり、併せて事業費も増加しているものです。
11	・潮流より、猿島の岸辺が減少しているようですが、新しい埠頭の築造が影響する可能性については、どのようにお考えでしょうか。	32	・港湾計画改訂に伴う環境への影響については、p 32に記載のとおりですが、埋立事業の実施に向けては、改めて調査し、環境に十分配慮して進めていきます。
12	・動植物への影響は、軽微であるとのことですが、具体的にどの程度の影響をお考えでしょうか。	32	・潮流などの物理環境への影響が軽微であることから、そこに生息する動植物への影響についても軽微であると考えています。 ・埋立事業の実施に向けては、改めて調査し、環境に十分配慮して進めていきます。
13	・横須賀市は、観光に力を入れていますが、東京湾唯一の自然等である猿島への来島者が陸地方向を見やる時に、間近に人工物である埠頭があることに、違和感があると思いますが、いかがでしょうか。	-	・猿島と新規埠頭の間の距離は800m程度あり、埠頭用地は海面上それほど高くなく、目立つものではないと考えていますが、頂いたご意見は参考にさせていただきます。
14	・今後、大地震が発生した場合を想定すると、港湾機能を集中させることは危険だと思われます。また、本庁山中線の不通なども想定されます。フェリーは久里浜、貨物は浦賀というように機能を分散させるような発想はありませんでしょうか。	-	・今回の計画改訂では、北部の長浦地区、中部の新港地区、南部の久里浜地区において埠頭の整備を計画し、港湾機能を適切に配置しています。また、耐震強化岸壁についても北部、中部、南部に配置した計画としています。

15	・マグロの水揚げが多いとのことですが、今後、三浦縦貫道路の延伸により、三崎港が見直され、横須賀の水揚げが減少する可能性について、どのようにお考えでしょうか。	—	・横須賀港では、冷凍マグロの輸入割合が全国的にも多いことから、今後も、引き続き利用されると考えています。
16	・鉄道のCO2排出量は、海上輸送の半分といわれていますが、今後、鉄道輸送が増加し、港の利用が減少する可能性について、どのようにお考えでしょうか。	—	・海上輸送は、鉄道輸送に比べて自然災害などの影響を受けにくいというメリットがあることから、モーダルシフトが進む過程において、海上輸送も増加していくものと考えています。
17	・埋め立てに使用される土砂は、どのように確保されるのでしょうか。	—	・公共工事等で発生する土砂や港内の浚渫土砂などを想定していますが、今後の社会情勢等を鑑みて、引き続き、土砂の動向を把握していきたいと考えています。
18	・港湾機能を強化しても、船によって、運ばれる物、人は、横須賀を通過するだけだと思います。企業には、メリットがありそうですが、横須賀市、横須賀市民には、どのようなメリットがあるのでしょうか。	—	・企業活動が活性化することに伴い、地域経済の活性化や雇用創出が考えられます。また、横須賀港を利用する人が、横須賀に滞在することで交流人口の増加に繋がるものと考えており、これらにより本市の産業振興、地域活性化といったメリットがあると考えています。
19	・今後、港湾計画を改定する場合は、市の環境、景観、財政にかかわることですので、市民の意見が反映されるよう、検討委員会に多くの市民が参加できるようご配慮いただけますでしょうか。パブリックコメントの募集期間も十分に確保していただけますでしょうか。	—	・頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。